

# ツアープログラム催行時における安全対策マニュアル-1

## 緊急時連絡体制

自然災害、事故などの緊急事態が起きた場合には、以下に示したとおり、主催者である南三陸町観光協会より、各関係機関へ連絡致します。連絡を受けた、学校団体様や旅行会社様は、保護者様や保険会社など必要な関係先へご連絡願います。



事故発生

現場スタッフ・ガイド・主催者  
**(社)南三陸町観光協会**  
南三陸町志津川字御前下51-1  
TEL 0226-47-2550

救急病院・指定病院など  
必要関連機関

学校団体  
旅行会社

## 関連機関

**公立南三陸診療所**  
南三陸町志津川字沼田56  
TEL 0226-46-3646

**石巻赤十字病院**  
石巻市蛇田字西道下71番地  
TEL 0225-21-7220

**南三陸警察署**  
TEL 0226-46-3131

**南三陸消防署**  
TEL 0226-46-2677

**南三陸消防署  
歌津出張所**  
TEL 0226-36-2222

**南三陸町役場**  
南三陸町志津川字沼田56  
TEL 0226-46-2600

## AED設置場所

**ベイサイドアリーナ**  
南三陸町志津川字沼田56  
TEL 0226-47-1131

**南三陸さんさん商店街**  
南三陸町志津川字御前下59-1  
TEL 090-7073-9563

**宮城県志津川自然の家**  
南三陸町戸倉字坂本88-1  
TEL 0226-46-9044

**入谷公民館**  
南三陸町入谷字水口沢12-3  
TEL 0226-46-5103

**歌津中学校**  
南三陸町歌津字伊里前123  
TEL 0226-36-2019

## 地震発生時の安全対策マニュアル



地震発生

**1 安全確保  
火気への対応**

**2 情報収集  
避難指示**

**3 避難後の対応**

**4 避難解除・津波注意  
解除後の対応**

**5 事後の対応**

強い地震を感じた場合、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりと揺れを感じた時は津波が発生する恐れがあります。

## 地震発生時の基本行動をとる

屋内にいる場合は、テーブルの下など、身を守る行動をとってください。電気器具や火気使用中の場合は、できる限りすぐに消火し、コンセントを抜いて下さい。屋外にいる場合は、鞆や身につけているものなどで、頭を保護し、低い姿勢をとってください。落下物の危険性がある場所にいる場合は、見通しの良い場所へ移動してください。

### POINT

まずは身を守りながら慌てずに、周囲の状況をよく観察する。

## 津波に対する情報収集

テレビやラジオ、町防災情報等で津波に関する情報を収集しましょう。プログラム体験中などの場合、現場スタッフやガイドの指示を聞いてください。

※各状況下別の対応マニュアル・避難経路は、次ページからの「緊急時避難経路図」を参照のこと。

※宿泊施設滞在中に大きな地震が起きた場合は、慌てて外に飛び出さず、宿泊施設に留まり、従業員の指示に従ってください。(現在営業をしている宿泊施設は、高台または強固な地盤上に位置し、今回の震災で避難先としても機能した建物です)

## 津波からの避難場所、避難経路の決定

プログラム体験中は、現場スタッフやガイドの指示に従い、安全な場所へ避難します。車輦避難ではなく、徒歩避難を原則とします。

基本的に、①避難時間が確保できる場合はなるべく高台へ避難、②避難時間がない場合は、最寄りの建造物の1番高い場所へ避難します。

### POINT

現場スタッフ、地元住民が近くにいる場合、指示に従った確かな行動をとる。

## 状況確認

津波は繰り返し襲来します。第一波よりもその後繰り返しやってくる波の方が高くなる場合があります。津波警報、注意報が解除されるまでは、注意が必要です。避難後は、互いに声を掛け合い、気持ちを落ち着かせましょう。

負傷者の状況によって、必要関連機関へ現場スタッフやガイドが連絡します。※左ページ「緊急時連絡体制」参照のこと。

### POINT

安全が保障されるまでは避難場所で待機し、的確な行動をとる。

## 冷静な状況把握と行動を

避難先で、警察官、消防士、現場スタッフより指示があった場合には、その指示に従い冷静な行動をとり、宿泊施設や二次避難先など指示された場所へ移動してください。

### POINT

現場に指揮者がいる場合は、その指示に従う。

## 被害の情報収集・状況把握

現場スタッフやガイドは、参加者などの被害の状況や施設の状態等を報告し、必要に応じて支援要請を行います。

### POINT

現場スタッフ、地元住民が近くにいる場合、指示に従った確かな行動をとる。

# ツアープログラム催行時における安全対策マニュアル-2

## 地震発生時の安全対策マニュアル

### A 商店街滞在中に大きな地震が発生した場合



#### 地域をよく知る商店街スタッフ、住民が指示・避難場所へ誘導

今回の震災で大きな被害を与えた津波。震災当時どこまで被害が及んだか、どの方向に移動すると高台があるかを、商店街スタッフや地元住民は熟知しています。万が一大きな地震が起きた場合には、地域をよく知るスタッフや住民が避難誘導を迅速に行いますので、落ち着いて指示に従い、安全な高台へ避難してください。尚、車輛は使わず、徒歩避難を原則とします(右記「避経路図」参照のこと)。

#### POINT

災害時には、商店街スタッフの指示に従い、原則徒歩にて近くの安全な高台へ避難してください。

### B 洋上体験中に大きな地震が発生した場合



#### 陸地にすぐに戻り、高台へ避難

海上にいる場合は、速やかに港(津の宮漁港)へ帰港し(最長でも15分程度で戻れます)、バスや車を利用して高台に位置する自然の家へ移動します。現場スタッフの指示、誘導に従って速やかに行動してください。

#### POINT

緊急時は、現場スタッフが安全な場所へ誘導します。慌てずにスタッフの指示に従ってください。

### C 語り部による学びのプログラム受講時に大きな地震が発生した場合



#### ガイドによる安全な避難場所への誘導

講話をしているガイドに従い、安全な高台へ迅速に避難してください。(避難場所は右記「避経路図」参照のこと)

#### POINT

緊急時は、講話をしているガイドが安全な場所へ誘導します。慌てずにガイドの指示に従ってください。

# 緊急時の安全・安心のために。



## 常時携行品例

外出先で被災する場合も想定されますので、必要なものは常に身に付けておくことをお勧めいたします。コンパクトで軽いものが理想的です。



懐中電灯



携帯ラジオ



ホイッスル



避難カード



避難用マップ

宮城県内では空間放射線線量率を毎日測定し、その結果を県でとりまとめ、公表しております。詳細は下記サイトをご覧ください。

**放射能情報サイトみやぎ**  
<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info>  
 TEL 022-211-2341

マニュアルに掲載されている情報は、当協会主催のツアープログラムに関する安全対策マニュアルになります。町外への避難方法や宿泊施設等のマニュアル・追加資料はございません。予めご了承の上、ご予約願います。